

KÖSTER

KP2

KP2

クラック防水専用ポリウレタン注入樹脂 柔軟性 無収縮 躯体の動きに追随します

概要

KÖSTER KP2 はクラック防水専用開発された疎水性ソリッドポリウレタン注入樹脂で動きのあるクラックの防水に適しています。

KP1 との組み合わせにより、激しく漏水するクラックにも対応し経年変化のない確実な防水ができます。濡れたコンクリートにも接着します。

用途

- 1、クラック防水
- 2、構造クラック防止

主成分

ポリオール、シクロヘキシルジメチルアミン、メチルジフェニルジイソシアネート

ソリッド樹脂とは？

溶剤、フィラー、可塑剤などの添加物を含まず、樹脂自体の化学反応で硬化する樹脂のこと。疎水性で収縮しないため水密性が高く、クラック注入に最も適しています。



切付からの漏水に効果的です

施工手順

1、穿孔

コンクリートの厚みを調べ、コンクリートの厚みの中心でクラックと交差するように45度の角度に穿孔します。

2、プラグ挿入

注入プラグを挿入し、ナット部をスパナで回すとゴム部が膨らみ固定されます。



3、穿孔位置の確認

正しく穿孔されているか確認するには水を注入します。クラックから水が溢れれば正しく穿孔されています。

4、材料の準備

KÖSTER KP2 を用意します。本製品は8kgのセット缶に梱包されており、成分Aと成分Bを体積比2:1の比率で混合します。

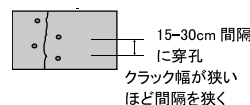
5、注入

□ 激しい漏水がある場合は KÖSTER KP1 を注入し止水をします。止水を確認後10分以内に同じプラグから

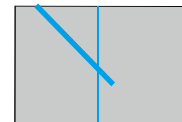
KÖSTER KP2 を注入し防水をします。

□ 漏水のない（又は滲む程度）クラックに注入する場合は KP2 をクラックから溢れ出るまで注入します。

KP2 は瞬時に硬化しませんので、クラックの奥深く徐々に浸透していきます。20～30分後再度 KP2 を注入すると防水性が高まります。



クラック幅が狭いほど間隔を狭く



コンクリートの中心でクラックと交差するように穿孔します



KP2 (8kg セット)



激しい漏水がある場合
KP1 (止水) と KP2 (防水) を併用



漏水がない場合
KP2 を単体で使用



2液の化学反応で硬化する KP2 は収縮せず周囲の温度の影響を受けません



硬化後も柔軟で躯体の動きに追随します

カスタージャパン株式会社

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 2916
電話：045-443-5102 ファックス：045-443-5145

e-mail: info@koster-japan.com http://www.koster-japan.com

(取り扱い)